

# 主な質疑

◎平成22年度氷川町一般会計補正予算(第4号)

## 区長報酬の減額は

江崎議員 減額の理由は何が。

総務財政課長補佐 参議院選挙のパンフレット配布をお願いしました。その分は国の補助金を使った関係で町の負担分が減りました。

## 立神峡吊り橋の点検は

田中議員 点検は法律に基づいておこなっているのか。何年毎に行うのか。

商工観光課長 法的にはありませんが、4年毎に行っています。橋を施工した業者にお願している。

## 梨晩霜害対策事業費補助金は何に

江崎議員 被害が大きかったが、補助金が少ないのではないかと。生活費の無利子融資は。農業振興課長 かなりの被害が出ていますが、来年の生産に向けて防除が必要になります。生産支援で、秋冬の防除の薬代です。生活支援についてはセフティネット資金の無利子化を実施しています。

西部小屋内運動場改築工事の入札方法は 江崎議員 入札で問題がおきたのは、業者を指名した入札だった。今回はどうするのか、入札制度は改革するのか。また、財源はどうなるのか。町長 どういう入札にするかは決定していない。問題は指名業者と関係。今回の事件をしっかり反省し、3億規模の工事です。業者の選定には十分注意をしていきます。学校教育課長 現在立っている面積分は安全安心学校交付金、残りは国庫負担金です。

た結果、競争性、公平性、透明性から公募による入札の方法を考えています。江崎議員 公募の条件はどうなっているのか。町民環境課長 廃棄法と施行令で基準が決まっています。収集車の維持管理などの設備、経験実績等の要件があります。条件付き入札になります。◎平成22年度氷川町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 出産一時金は見込み違い 江崎議員 前年度より132万円減とし、当初予算を1008万円組んでいたのに、さらに500万円を増額するのは見込み違いか、事務上の問題か。健康福祉課長 見積もりが甘かったと反省しています。母子手帳で判断すべきであったと思っています。



氷川町消防団出初式

臨時議会  
氷川町教育委員に  
広瀬 亀氏を承認  
11月8日開催された臨時議会で、氷川町教育委員に、広瀬亀氏が再任されました。

# 常任委員長報告

## 総務常任委員長 上田 健一

総務常任委員会に付託されました案件につきまして、委員会における審査の経過並びに結果について報告します。

平成22年度氷川町一般会計補正予算(第4号)は歳入歳出3億6262万7000円を増額補正するものです。

歳入では、国庫支出金6335万1000円、県支出金759万8000円の増額補正、繰越金2285万5000円の減額補正、諸収入103万3000円、町債3億1350万円の増額補正です。歳出は、総務費463万円の増額補正です。債務負担行為補正は8868万5000円(平成22年度から平成27年度まで)の設定です。地方バス負担金115万3000円増額の内容は、九州産交バスからの請求で、21年10月から22年9月までの経費で、路線系統の増と運行経費、収入との差額分等で不足が生じるための

平成22年12月定例議会で、平成22年度氷川町一般会計補正予算、平成22年度氷川町国民健康保険特別会計他2特別会は、所管の常任委員会、審議が行われました。委員会での審議経過並びに結果が各委員長から報告されました。

の。無線システムは、地デジ用の鉄塔アンテナで立神地区の山手に建設する。受益者負担金は50%との説明がありました。竜北公園の管理委託料は、緑地管理、トイレ清掃、遊具点検等でシルバー人材センターに委託。債務負担行為の内容は、竜北5261万円、宮原3607万5000円のゴミ収集業務で、平

成23年4月1日より5年間。条件は町内に住所・事業所を有し、実績があり、保証人等が必要と説明がありました。以上が議論されました主な点であります。審査の結果、議案第44号は、全員賛成をもって原案の通り可決することに決定いたしました。

## 産業建設常任委員長 松田 達之

産業建設常任委員会に付託された案件につきまして、審査経過並びに結果について報告します。氷川町営住宅条例一部改正について、町営住宅の家賃滞納状況について説明を求めた。現在過年度分2件、現年度分19件の61万2900円。滞納整理は毎月訪問を行い、

滞納月数が多い世帯は役場に来てもらい相談をしている。条例改正で4月から延滞金がかかることになる。審査の結果、条例改正は全員異議なく可決しました。平成22年度氷川町一般会計補正予算で、排水路維持管理費10万5000



町道こいこい橋線の法面崩壊場所

円は反雨地区の農業排水路2か所、急を要したので水防協議会より材料を借りて復旧済みとあったが、委員から予算の組み方が間違っている。9月補正をすべきだったのではないかと指摘があり、執行部も9月に補正すべきだったと認めました。町道こいこい橋線の道路維持補修工事は、崩落の危険はないかと意見が出た。雨水等で地山の安定を図るために布団がこ

弁があった。道路新設改良費の財源組み換えは、インターチェンジ関連事業予算に対する起債の組換えと答弁があった。審査の結果、全員異議なく可決しました。最後に、PPP交渉対に陳情を審査しました。賛否両論意見はあるが、氷川町全体を考えると参加しない方がいいとの意見で、異議なく採択しました。



竜北公園

不足が生じるための

整理は毎月訪問を行い、

維持管理費10万5000

布団がこ

採択しました。